

随行 奏子 個展

ZUIGYO Kanako solo exhibition



www.kunstarzt.com

LIFE MAKER

KUNST ARZT では、2年ぶり3度目となる
 随行奏子の個展を開催します。
 随行奏子は、お絵かき間隔で、ユーモラスな人型
 木彫を生み出すアーティストです。
 前回の KUNST ARZT での個展では、20以上の肖像
 木彫作品をズラリと並べ、これまでの逃げ続けて
 きた人生を振り返りました。
 本展では、“家事”に着目した展開です。
 (KUNST ARZT 岡本光博)



変な泳ぎ方でも泳いでいる

2024

クスノキ、合板、アクリル絵具

h32×w43×d8cm

経歴

1980 広島県生まれ 広島県在住

2004 沖縄県立芸術大学美術工芸学部美術学科彫刻専攻 卒業

展覧会

個展

2025 随行奏子 木彫展 (tsugumi/東京)

2024 エンドレス毎日 (GALLERY MARONIE/京都)

2023 逃げる (KUNST ARZT/京都)

2021 奥歯にずっとはさまっている (KUNST ARZT/京都)

2021 随行奏子 木彫展 (同時代ギャラリー Bis/京都)

主なグループ展

2025 PrintmakingIII 刷りとその解体 (GALLERY MARONIE / 京都)

2025 HEART 2024 関連企画 県美界限展 サンキュー・ヌマさん (ギャラリー・ナカノ / 山口)

2025 立体作家な夫婦展 (ギャラリー小川 / 山口)

2025 bookish (GALLERY MARONIE GALLERY 3 / 京都)

2024 PrintmakingII 刷りとその解体 (GALLERY MARONIE GALLERY 4 / 京都)

2024 第76回山口県美術展覧会 (山口県立美術館) * 優秀賞

2024 ザ☆オマモリ展 (GALLERY MARONIE GALLERY 3 / 京都)

2024 希望日子裡像你一樣特別 | Wish My Daily is Special as You (THZ Gallery 旗艦館 / 台湾)

2023 立体作家な夫婦展 (三本松画廊 / 山口)

2022 第75回山口県美術展覧会 (山口県立美術館) * 佳作

2020 Gallery Land's End Collection (Gallery Land's End / 兵庫)

2017 TURNER ACRYL GOUACHE BIENNALE 2017 (ターナーギャラリー / 東京) * 佳作

2019 立体造形 2019 (同時代ギャラリー / 京都)

2019 さいころ [骰子]、または賽、dice 展 (物 | 事 田疇 / 兵庫)

2018 京都国際映画祭 2018 クリエイターズ・ファクトリー (元淳風小学校 / 京都)

* クリエイターズ・ファクトリーアート部門 優秀賞

2017 立体造形 2017 (ART FORUM JARFO / 京都)

2008 第11回岡本太郎現代芸術賞展 (川崎市岡本太郎美術館 / 神奈川)

2004 木の造形—木彫の魅力—展 (浦添市美術館 / 沖縄)

2025年10月25日(土)から11月2日(日)

12:00から18:00 27日(月)休

会場: KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

展覧会コンセプト

日々当たり前のように行われている家事は、暮らしを支える不可欠な労働でありながらその価値は十分に認識されていません。私は家事労働に携わるすべての人々に敬意を表し、見えにくい努力や献身に光を当てたいと思います。私自身も一日の多くの時間を家事に費やしています。こうした日々の営みは派手さや劇的な出来事とは無縁ですがその積み重ねが私たちの暮らしを形作り、社会の善意や信頼のインフラとなっています。それは人間の「生きる」につながる大事なことなのではないでしょうか？
本展では自身をモデルとした人型の木彫を通して、そのシンプルな強さ、そして家事従事者が自らの存在意義を再確認し、社会における立場を前向きに捉え直すきっかけを提供したいと思います。

アーティスト・ステートメント

私は木彫を中心に制作をしています。2019年頃から、自身の立体表現に違和感を抱き、従来の「彫刻」という枠組みを超えた新たな可能性を模索するようになりました。その中で、子供の頃から親しんできた「お絵かき」の感覚を手掛かりに、平面的な要素を取り入れた人型の木彫へと表現を展開しています。これらの作品は、私自身の個人的な経験や思いを反映しています。それらを表現することで様々な社会課題や現実への問いが立ち現れると考え、制作に取り組んでいます。



置かれ岩
2024
クスノキ、合板、アクリル絵具
h57×w96×d8cm



だいたいこの辺にいる感じ
2024
クスノキ、合板、アクリル絵具
h110×w100×d12cm



個展「逃げる」(2023) 展示風景
(KUNST ARZT/京都)